

船橋市立医療センターNews No.40

●発行年月日/平成31年4月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 丸山 尚嗣
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>



「合戦場のシダレザクラ」元事務局長 工藤 芳雄氏撮影



新しい時代を迎えて

船橋市立医療センター院長 丸山 尚嗣

本年5月1日に新しい天皇が即位し元号が改められます。このたび退位される天皇陛下は平成という時代を振り返り、「日本は国民の平和を希求する強い意志に支えられ、近現代において初めて戦争を経験せぬ時代を持ちました」と述べられました。我が国では、平成の時代に紛争や事故による死亡者は減り、また治療が困難だった多くの病気が治療できるようになって、日本人の平均寿命は大きく延びました。しかしながら、天皇はさらに「決して平坦な時代ではなく、多くの予想せぬ困難に直面した時代でもありました」と仰っています。確かに戦争はなくても次々と多様な困難に直面し、皆が幸福になれたかというところではないように思われます。新しい時代の日本は、少子化・高齢化が進み総人口は減少します。皆で支えあい共生することによってのみ多くの幸福が得られるはずであり、無意味な争いをしている余裕はありません。

さて新年度を迎え、当院もスタッフの入れ替わりがあります。長い間ご尽力いただいた放射線診断科部長、薬剤局長、放射線技術科技師長をはじめ多数の人事異動があり、また4月から医師が7名増えて常勤医師数（研修医を含む）は153名になります。当院が担う高度急性期医療には多くの人手が必要ですが、チーム医療をさらに推進して皆様の命を守ることに貢献したいと思います。なお、新天皇即位に伴うGW 10連休は、全期間を通じて24時間体制で救急医療を行い、緊急入院や緊急手術に対応できるよう体制を整えています。

目次

病院事業管理者あいさつ／人事異動紹介……………	2	卒後臨床研修評価機構の認定を更新……………	7
新任者・退任者あいさつ……………	2～3	第37回 公開医療講座／第12回 がん市民公開講座／	
特集 整形外科を紹介します……………	4～5	バスケサークルが大会で優勝……………	8
車椅子10台の寄贈……………	5	救命救急センター 24時／リハビリテーション科講演／	
当院で働く人々／研修医のつばやき……………	6	職員募集……………	9
医療を学ぼう in 図書館／……………		外来担当医師一覧表……………	10

病院事業管理者あいさつ

船橋市病院事業管理者 高原 善治

鈴木一郎先生から事業管理者のバトンを受け取ってから1年が過ぎました。平成30年度は、脳神経内科、腎臓内科、リウマチ科の新設や脳卒中センター及び乳腺センターを開設し、医療サービスの向上を図りました。また、昨年購入した新しい放射線治療装置（リニアック）が調整を終え稼働を開始し、手術支援ロボット（ダヴィンチ）の導入を行い医療水準の向上に努めてまいりました。今年度以降も計画的に医療サービスと水準の向上に努めたいと思います。

近年、科学技術の進歩やこれに伴う社会構造の変化は著しいものがあります。医療においても、加速度的に進化が起こってきております。各疾病のリスク・ファクター（危険因子）の分析が進み、予防医学の面で大きく進歩してきています。また、ゲノム（遺伝子情報）の開発は、がんや認知症の治療の

道を大きく開いてきました。今日では、iPS細胞（人工多能性幹細胞）を利用した新しい治療法も開発されてきています。これらのことはAI（人工知能）を利用することでさらに加速度を増してくると考えられます。これらに追従していくには、設備面・人材面での整備が必要で、継続した安定経営が必須となると考えられます。

船橋市メディカルタウン構想の中心として新病院の移設計画がスタートしていますが、今年度も安定した経営のもとで、医療の進歩を考慮した新病院建設に向かっていきたいと思っています。



人事異動紹介 (4月1日)

診療局	新任者	退任者
救命救急センター長	角地 祐幸	—
放射線診断科部長	中條 秀信	七條 祐治

放射線技術科	新任者	退任者
技 師 長	林 圭吾	小野寺 敦

臨床工学科	新任者	退任者
技 師 長	石川 仁	—

薬剤局	新任者	退任者
薬 剤 局 長	大竹 満博	菅原 克也

※人事異動に伴い、外来診療体制が変更されています。（詳しくは、10ページをご覧ください）

診療科名	採用			退職		
呼 吸 器 内 科	白石 結佳	黒木 嗣子		鈴木 友里		
消 化 器 内 科	山田 奈々	笠松 伸吾				
代 謝 内 科	栗田 健市			中村 俊介		
小 児 科	河内 遼	坂本真季子	今泉 孝章	力石 浩志	甲斐 千明	飯島 雄太
	蓮沼 竜司					
泌 尿 器 科	木下 涼			日野 大地		
耳鼻いんこう科	大熊 雄介			兼坂 寛子		
眼 科	武石真里恵					
外 科	澤田 尚人	間宮 悠		松本 泰典	平澤壮一郎	
心 臓 血 管 外 科	伊藤駿太郎			坂田 朋基		
形 成 外 科	小曾根琢真			花野 舞		
整 形 外 科	久保田憲司	濱田 剛史		沖松 翔	奥山 晃平	林 伸晃
麻 酔 科	廣橋 美穂					
救 急 科	房田 卓也					

新任者あいさつ



救命救急センター長 角地 祐幸

このたび、救命救急センター長を拝命致しました。

救急医療は人口増加と高齢化により搬送数が増加している一方で、迅速で高度な急性期医療を提供することが求められています。当科は少ない人数ではありますが、命の灯を守る超急性期病院の救急科として、職員だけでなく地域医療機関の方々と連携し最大限の努力をして参りたいと思いますのでよろしくお願いします。



放射線診断科部長 中條 秀信

このたび、当院放射線診断科部長を拝命致しました。昨年4月に当院に赴任して以来、CTやMRIをはじめとする画像診断全般に携わっています。近年放射線科医による画像診断のニーズは高まっており、当院でも画像診断の依頼は飛躍的に増加しています。放射線科医が患者さんと接する機会は多くありませんが、当院における医療の質を陰から支えています。今後ともよろしくお願い致します。



薬剤局 薬剤局長 大竹 満博

4月1日付で薬剤局長を拝命致しました。薬剤局は当院の理念に基づき「患者さんにとって最適で安全な薬物療法を提供する」ことを目標に、薬のあらゆる場面において関わりたいと考えております。入院では患者さんと面談を行い、これまで服用されているお薬や副作用歴などを聴取し、入院から退院後までお薬のことについてご説明します。外来では、入院予定の患者さんのお薬の服用歴や副作用歴の確認、外来で化学療法を受けられる患者さんへのお薬の効果や副作用の説明、ご相談を行っております。入院、外来を通じ最適な薬物療法に関与し「顔の見える薬剤師」を一人でも多く増やせるよう努力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



放射線技術科技師長 林 圭吾

この度、4月より放射線技術科技師長を拝命致しました。開院準備室の頃から入所し、臨床業務一筋に携わり、多くの患者さんに少しでも役立てて頂ける画像を提供してまいりました。

開院30数年を経て、今では病院の担うべき役割も規模も大きく変貌し、治療部門の併設や各画像診断部門の拡充といった変遷に至りました。今後も放射線技術科は、患者さんに安心して、また信頼して検査・治療を受けて頂ける様に環境と接遇、さらには品質や精度の高い検査と治療技術の提供に努めていく所存です。よろしくお願い致します。



臨床工学科技師長 石川 仁

4月1日付けで臨床工学科技師長を拝命致しました。当院の臨床工学技士として着任して以来25年、様々な緊急手術対応や高度専門医療の一端を担うべく精進してまいりました。

今後益々発展して行く医療機器と、それを扱う現場との間を取り持ち、事故の無い安全な環境を提供して行けるようスタッフ一同更なる研鑽を重ねて参る所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

退任者あいさつ



放射線診断科部長 七條 祐治

この度3月31日をもちまして定年退職することとなりました。当院には平成10年3月16日に就職し、放射線科・放射線診断科部長として21年余り勤めました。この間主として画像診断と、画像下治療を担当し、救急医療にも関わってまいりました。画像診断の分野ではデジタル化の普及、高精細化、画像解析技術の発展が進み、当院でも適宜診療環境の充実が図られてきました。病院の発展と放射線科の充実がクルマの両輪の関係にあります。

最近画像診断をめぐる様々な問題がマスコミ等に取り上げられることが増えています。我々の作成する画像診断報告書を、患者さんの診療に有効に役立てていただきたいと常々思っております。4月以降も当院に勤め、新しい部長を補佐してゆく所存です。



薬剤局 薬剤局長 菅原 克也

3月31日をもちまして定年退職いたしました。

開院翌年から35年間お世話になりました。この間206床の病院は449床まで大きくなり、地域がん診療連携拠点病院認可、3次救命救急センター設置、電子カルテ導入、院外処方箋発行、病棟薬剤師常駐配置、と様々な事業に関わらせて頂きました。「おくすりのあるところ薬剤師あり、患者さんが薬のことで困らないこと」を念頭に置き努めてまいりました。信頼される医療を目指す当院の一員として、また、ひとりの薬剤師として得難い経験をさせて頂けたことは、多くの皆様のご支援があったことと感謝申し上げます。ありがとうございました。

船橋市立医療センターが今後ともますます発展することを心よりお祈りしております。



放射線技術科技師長 小野寺 敦

昭和58年5月卒後採用から約36年在職し、その間10年の技師長職を務めさせていただきこの度3月31日をもちまして退職いたしました。本当に永い間公私にわたり皆様方より賜りましたご厚情に心より感謝し厚くお礼申し上げます。

放射線医療技術は言うまでもなく診断、治療ともに日進月歩であり、その取入れは、予定の新病院建設含め市民の皆様から医療技術部放射線技術科として高水準な診療を期待され続けていくと思います。医療センターおよび放射線技術科の益々の発展を祈念いたします。

自分はこれまでこちらで培った経験を人生の糧として心新たに歩んで参りたいと思います。ありがとうございました。

整形外科を紹介します

整形外科部長兼重度外傷センター部長 高瀬 完

整形外科は、頸部から足先まで、骨、関節、靱帯、神経、筋肉、腱といった運動に関係する部分（運動器）を扱う科です。対象疾患は外傷による骨折、靱帯損傷、挫創（皮膚、筋肉等の傷）、脊髄損傷など、慢性疾患としては変形（側弯症、変形性関節症、脊椎症、外反母趾、リウマチ）、感染（化膿性脊椎炎、関節炎）、骨や軟部の腫瘍、リハビリテーションと多岐にわたります。外科という名が付きますが手術だけではなく、薬、注射、神経ブロック、リハビリといった保存的治療も多く行います。



当科は1次から3次までの救急病院として常に救急患者に対応し、特に他院では対応困難な小児、あるいは合併症のお持ちの高齢者の手術を他科と協力しながら行っているのが特徴です。近年高齢者の受診が増加しています。年をとっても生活を楽しめる体を作る手助けになるよう個々の患者さんに応じて最善の方法を考えています。

診療内容について

骨折・外傷

3次救急病院のため老若男女の外傷患者さん、特に他院での治療が困難な、複雑な骨折の患者さんを多く治療しています。常に最新の知識、手技を駆使して早期の機能回復、退院、社会復帰を図ります。大腿骨頸部骨折を代表とする高齢者の脆弱性骨折においては、地域連携パス等を用いて急性期治療が終わったら早期にリハビリテーションが行えるよう病院、診療所間の連携を密に行っています。

膝関節外科

主に変形性膝関節症、関節リウマチ、半月板・靱帯損傷に対して治療を行っています。

変形性膝関節症では、患者さんの年齢、活動性、お仕事などを考慮し、人工関節置換術か骨切り術かをご相談の上選択します。内側や外側の一方のみの変形の場合は膝に影響が少ない（傷が小さく、靱帯に対する影響がなく、よく曲がる）単顆置換術を行っています。

入院期間は、人工関節全置換術・骨切り術が2週間程度、単顆置換術は7～10日間程度です。

中程度の内側関節症の場合

・単顆置換術



単顆置換術のレントゲン



全置換術を両膝に施行



スポーツ外傷で多いのは半月板・靱帯損傷です。診察、MRI等で診断し、患者さんの希望、活動性を考慮し、手術の適否を判断しています。内視鏡を用いて半月板手術は2泊3日、前十字靱帯手術は1週間程度の入院期間となっています。

股関節外科

股関節の疾患で手術をすることが多いのは変形性股関節症です。変形性股関節症は女性に多く、痛

みとともに股関節の動きが悪くなってきて、レントゲンを撮ると関節の隙間が狭くなり軟骨が少なくなっていることがわかります。徐々に進行し、日常生活に支障をきたす場合は、年齢を考慮して人工股関節置換術を行います。当院では主に股関節の前方からのアプローチで、筋肉を切らない低侵襲の方法で手術をしているため、術後の機能的な回復が早いのが特徴です。手術後、約2週間で退院が可能で、痛みがとれて、関節の動きも改善し、歩行もしやすくなります。その他、大腿骨頭壊死や関節リウマチといった疾患にも同様の手術を行います。



脊椎外科

脊椎の病気は、背骨の変形により、神経が圧迫されて生じるものが多いです。加齢的な変形のほか、骨折、がんの転移、感染など原因はさまざまです。これらの病態に対して、多くのものは内服薬やブロック注射などで改善しますが、症状が十分取れない場合は、手術治療を検討いたします。

手術治療は、なるべく侵襲の少ない方法を行うようにつとめており、なかでも腰椎椎間板ヘルニアに対しては経皮的内視鏡手術（PED）を行っております。腰椎椎間板ヘルニアは、強い腰痛、足の痛みやしびれなどを起こす病気ですが、近年の光学技術の進歩と周辺機器の開発により、内視鏡を用いた小さな創での手術が可能となっております。当院では、PEDにより、わずか7～8mmの内視鏡を用い少ない侵襲で、神経やヘルニアをしっかりと内視鏡で確認し、ヘルニアの摘出を行っております。適応は、あくまで脊柱管狭窄を伴わない椎間板ヘルニアのみとしていますが、さまざまなアプローチにより、特殊な部位を除き、あらゆる部位でのヘルニアに対処可能です。

その他

骨・軟部悪性腫瘍、および小児代謝性疾患等の専門的治療が必要な患者さんは、千葉県がんセンター、千葉県こども病院等へご紹介させていただいています。

終わりに

多くの整形外科疾患は命にかかわるものではありません。しかし、幸せに楽しく生きていく上では非常に重要であり、そのため病院、診療所、接骨院、整体、サプリメントを含めた薬等世の中に情報があふれすぎて、患者さんにとってはどれを選択したらよいかわからないのが現状です。私たちは、家族ならどうするかという思いを基本に今後も治療を続けていきたいと思ひます。



船橋西ロータリークラブと(株)メディカルスポーツプラザ から車椅子10台を寄贈していただきました



平成31年1月31日に船橋西ロータリークラブ会長の安岡様、実行委員長の田村様と株式会社メディカルスポーツプラザ代表取締役の徳田様より当院へ車椅子10台を寄贈していただきました。

船橋西ロータリークラブの皆様は様々な奉仕活動を通じて地域に貢献されており、当院への車椅子寄贈は2回目となります。株式会社メディカルスポーツプラザはスイミングスクールやテニススクール、学習塾等の運営を行っている会社で今回は社会貢献活動の一環として寄贈していただきました。寄贈された車椅子は入院や外来の患者さん用として活用されます。



当院で働く人々

～病院ボランティアの仕事～



当院では、病院ボランティアとして、受付機器等の操作支援・診療科や検査室等への案内などを行う院内ボランティア、病棟や外来の図書コーナーの本の整理等を行う図書ボランティア、緩和ケア病棟で飾り付けやイベントを行う緩和ケアボランティアに分かれて活動していただいています。



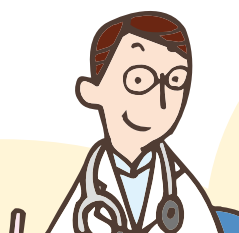
当院に初めてかかれる方、検査室等の場所がわからない方、からだの不自由な方やご高齢の方が安心して受診できるようにお手伝いをし、患者さんの立場にたったサービスを提供することを目的としています。



場所のご案内などでいろいろな方から感謝のお言葉やお声をいただくことが多く、ボランティアにとっても励みであり活力となっています。これからも患者さんに寄り添った活動を続けてまいりたいと思っています。



研修医のつぶやき



初期臨床研修医2年 吉田 亮伊

研修医生活も気づけば1年が経ちました。振り返ればあっという間に感じますが、日々学びの連続でその内容はとても濃いものです。私の好きな言葉に「幸運は用意された心のみに宿る」というものがあります。フランスの細菌学者、ルイ・パスツールの言葉とされていますが、私達の様な新参者の研修医ほどこの言葉が大切だと思います。何事にも準備が大切です。いかに知識があり、いかに体力があったとしても、あるチャンスに対して準備をしていなければそのチャンスから学ぶことは非常に少ないものになってしまうでしょう。そして、そのチャンスはいつ現れるかわかりません。明日かもしれないし、現れないかもしれません。チャンスとはどのような形か、現れるまでわかりません。手技や疾患、学会の発表など様々な形をしており、人によって異なるでしょう。準備をしていなければ気づくことすらできない可能性もあります。日々

学んでいくことで、チャンスが最大限の経験となってくれるのです。ある意味1年経つことで一種の慣れが出てくる時期でもあります。その慣れが惰性になることが最も恐ろしいことです。私は毎日を新鮮な気持ちで過ごしております。大変微力ではありますが、先生と患者さんを診させていただき、少しでも皆さんが回復していく姿は何より嬉しく思います。あと少しで新社会人となる研修医が入ってきます。自分が学んだこと、先輩方よりご教授いただいたものを少しでも伝えられれば幸いです。



病院ボランティア（患者さんの案内や図書の整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで

医療を学ぼう！ in 図書館

医療センターでは各診療科の医師やメディカルスタッフが、船橋市西図書館で毎月医療講演会と相談会を開催しています。市民の皆さんに大変ご好評で、近くの図書館で開催してほしいという要望もあり、北図書館、東図書館で年に4回出張医療講演会を開催しています。出張講演会の様子をお伝えします。

2月3日（日） 場所：二和公民館（北図書館併設）

「胃がん・肝がん・膵がんに対する腹腔鏡手術の実際とチームでの取り組み」

講師：消化器外科部長 夏目俊之 手術室看護師長 深澤里佳

医師が実際の腹腔鏡手術のビデオ映像を解説し、皆さんから具体的にイメージできたという感想がありました。そして、手術を行う際大切にしているチーム医療について、“患者さんのため”を合言葉に、医師一人ではできないこと、チームで行うことの意義について熱く語られました。患者さんの一番身近な存在の看護師からは、患者さんが安心して安全に手術を受けられるよう、多くの職種スタッフと情報を共有して連携し、看護を実践をしていることが、実際の写真を用いて話されました。講演後の質疑も活発で、会場から、チームの大切さを実感したとのお言葉をいただきました。



今後の予定 西図書館 要申し込み 先着50名 14:00～15:00

日程	演題	演者
4月18日（木）	ここまで来た肺がんの最新治療	腫瘍内科部長 平野 聡
5月16日（木）	認知症とその予防	精神科部長 宇田川雅彦
6月 8日（土）	股関節の痛くなる病気について	リハビリテーション科部長 池之上純男

講演会、相談会申し込み先：西図書館 船橋市西船1-20-50 TEL 047-431-4385
毎月1日9:30より受付（6月は5月1日より）

出張講演会の予定 要申し込み 先着50名 14:00～15:30

6月20日（木） 場所：二和公民館（北図書館併設）

申し込み先：北図書館047-448-4899

「よくわかる糖尿病のはなし」代謝内科部長 岩岡秀明

7月3日（水） 場所：習志野台公民館（東図書館併設）

申し込み先：東図書館047-463-3611

「やさしい乳がんのはなし」乳腺外科副部長 南村真紀

申し込み受付：6月1日9:30より各図書館へお申し込みください。

※予定は変更する場合がありますので、広報ふなばしや図書館HP等でご確認ください。

医療連携・患者支援センター 石川晴子

卒後臨床研修評価機構の認定を更新しました

当院は平成27年より特定非営利法人卒後研修臨床評価機構（JCEP）による第三者評価の認定を受けています。今年度はその更新にあたり、卒後臨床研修基幹病院として平成31年度から4年間の認定を更新しました。

JCEPは卒後臨床研修がどれだけ適切に行われているかという事を評価する団体です。研修設備や臨床研修プログラム、実際の活動内容を、書類と訪問調査員のチェックで評価されて、判定が下されます。今回の訪問調査では、当院での研修内容の質の高さや充実度などが高く評価されました。

今回の評価を受けて、福澤臨床研修センター長は「今後も、研修医を育てる病院として、充実した医療教育を提供しているという自己満足だけではいけませんから、今回指摘いただいた内容をしっかりと改善して、現時点での課題を克服し、研修内容の質の向上に努めることで、さらにいい病院にしたいと思っています」と抱負を述べました。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。



「口の中にできものありませんか」を開催しました



1月24日（木）に市民文化創造館（きららホール）にて、村野彰行歯科口腔外科部長を演者とした公開医療講座を開催しました。

日本口腔外科学会の歯科口腔外科専門医として認定されている村野部長は、「口腔がんは数少ない肉眼で発見することのできる種類のがんであり、普段から口腔内を観察することが大切です。他のがんと同様に早期発見・早期治療が大変重要なので、口内炎や傷、白色あるいは紅色の病変が2週間以上治癒しない場合は、かかりつけの歯科を受診してください。」と語りました。

第12回 がん市民公開講座

「免疫チェックポイント阻害剤の実力と限界」を開催

3月3日（日）に市民文化創造館（きららホール）にて第12回がん市民公開講座を開催しました。テーマは「免疫チェックポイント阻害剤の実力と限界」で平野聡腫瘍内科部長と有賀隆放射線治療科部長による講演が行われました。

従来の抗がん剤はがん細胞を攻撃するのに対して免疫チェックポイント阻害剤は免疫細胞（T細胞）に働きかけてがん細胞を攻撃しやすくする薬です。T細胞の表面にPD-1という免疫を抑制するタンパク質があり、がん細胞はPD-1に作用してT細胞による攻撃にブレーキをかけます。このブレーキがかからないようにしてT細胞ががん細胞を攻撃できる状態を保つのが免疫チェックポイント阻害剤です。また従来の抗がん剤や放射線治療と組み合わせることでさらに高い治療効果も期待されています。副作用は軽いことが多いのですが、従来の副作用からは予測がつかない症状が生じることもあり治療終了後も注意が必要です。講演では年々治療法が進歩し今までよりも治療成績が徐々に改善しているとはいえ、最善の治療はがんを予防することであることも強調されました。

当日は天候も悪く寒い日でしたが、50名程の方が参加され熱心に聴講していただきました。



当院のバスケサークルが大会で優勝しました!!

当院のバスケサークルでは小寺医師を中心に院内の様々な職種の職員が集まり、週1回バスケを楽しんでいます。2019年1月20日に千葉市で開催されました「千葉県最強ウルトラメディカルバスケットボールチャンピオンシップ」において優勝することが出来ました。千葉が誇るプロチーム、千葉ジェッツふなばしより強いのでは？ともっぱらの評判です。



※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

救命救急センター24時 ―心不全！あなたができること―

今回は心不全についてご説明します。一口に心不全と言っても原因は様々です。急性心筋梗塞のように心臓自体が障害を受けた場合だけでなく、飲水過多や感染、不整脈、高血圧、貧血などでより心臓に負担がかかると心不全をおこす場合があります。

心不全のおき方には心筋梗塞症などの急性心不全と徐々にひどくなる場合があります。

心臓は全身の血液を受けて肺に血液を送る右心系と肺から血液を受けて全身に血液を送る左心系に分けられます。右心不全では、足がむくんだり、おなかが張ったり、食欲がなくなったりします。一方、左心不全では呼吸困難や立ちくらみや尿量の減少が occurs。心臓は右心系と左心系が協調して動いていますので、これらの症状が組み合わさっておこります。また心不全により全身

のうっ血が起きますと数日で体重が数kg増加します。

突然息が苦しくなったり胸が苦しくなったりしたときは急性心不全が考えられますのですぐに医療機関を受診してください。心臓の病気がある方は、症状が日に日に増悪してきたり、症状が軽度でも体重が数日でどんどん増加したりする場合は早めにかかりつけの医療機関を受診してください。

一般に心不全は予防が重要です。きちんと処方された薬を内服し、塩分や飲水量に注意し、体重や血圧を測定し、かかりつけ医と相談することで異常を早期に発見できます。

あなたの注意と知識で「いのち」を救えます！

救命救急センター長 角地 祐幸



リハビリテーション科の梅田真理技師長が講演を行いました

1月27日にフクラシア品川クリスタルスクエアで当院リハビリテーション科の梅田真理技師長が講演を行いました。今回の講演は、急性期病院における理学療法士の管理者ネットワークの構築に向けて、都道府県理学療法士会の世話人を対象に「病棟専従理学療法士が必要とする能力について」をテーマとして行われたものです。当院が全国で先駆的に理学療法士の病棟専従配置を導入した経緯と、専従者はどのような能力が必要であるかについて、実績をもとに講演を行いました。



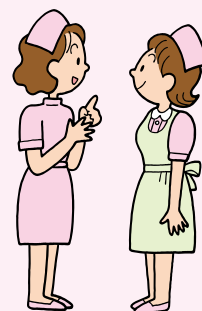
梅田技師長は講演を終えて、「患者さんが急性期病院で入院と同時にリハビリテーションが受けられるようにするために必要な事や今後について、全国から集まった理学療法士の管理職の皆さんが考えるいい機会になればと思います」と語りました。

平成31年度 募集概要

看護補助者(パート)・クラーク(パート)募集

●資格／特になし ●時給／ 1,060円(看護補助者)、980円(クラーク)

※詳細は当院ホームページ (<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>) をご覧ください。



船橋市立医療センター

電話番号 047-438-3321(代)

外来担当医師一覧表

平成31年4月1日現在

			月	火	水	木	金	備考
内科	新患		山田 奈々 (石井清文/関 厚佳)	多部田弘士	下山 立志	稲垣雅行/福澤 茂	白石 結佳	新患の(木)は 第1・3・5稲垣、第2・4福澤
	呼吸器		中村 祐之 黒木 嗣子	天野 寛之 中村 純	葉山 奈美 藤田 哲雄	中村 祐之 中村 純	藤田 哲雄 天野 寛之	消化器の(月)は 第1・3・5石井、第2・4関
	消化器		石井清文/関 厚佳 東郷 聖子※1	安藤 健/笠松伸吾 関 厚佳※1/古賀邦林※2	小林照宗/東郷聖子 安藤 健※1/藤井渚々※2	古賀 邦林 水本英明※1/石井清文※2	藤井 渚々 小林照宗※1/笠松伸吾※2	消火器の(火)は 第1・3・5安藤、第2・4笠松
	代謝		岩岡 秀明	下山 立志	栗田 健市	下山 立志	岩岡 秀明	消化器の(水)は 第1・3・5小林、第2・4東郷
	腫瘍				平野 聡		平野 聡	消化器の※1は午前、※2は午後
心臓血管センター	腎臓		清水 英樹				清水 英樹	消化器の下段は原則、消化器内科からの予約患者のみ
	リウマチ・膠原病							リウマチ・膠原病は完全予約制
	循環器科	予約	稲垣 雅行 内山 貴史	降旗修太/黒岩信行 沖野 晋一	内山貴史/稲垣雅行 岩田 曜	黒岩 信行 丘 慎清	福澤 茂光 石脇 光	(水) 第1・3・5稲垣、第2・4内山
心臓血管外科	新患		沖野晋一/石脇 光	丘 慎清	芝山純恵瑠/内山貴史	降旗 修太	岩田 曜/黒岩信行	(月) 沖野/石脇、(火) 降旗/黒岩、 (水) 芝山/内山、(金) 岩田/黒岩は隔週
	手術日		〔手術日〕	高原善治/茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1:30～ ※第2高原 ※第1・3・4・5茂木
緩和ケア内科					〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～ 予約患者のみ
精神科	新患			宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		新患は事前予約が必要(電話可)
	再来		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		
小児科			伊賀 裕子 坂井 美穂	佐藤 純一 河内 遼	丹羽 淳子 〔交替医〕	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
	新患(消化器・一般)		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
外科	消化器・一般		宮崎 彰成 吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元修 貝沼 修	宮崎 彰成 澤田 尚人	(水) 丸山 午前のみ (水) 吉原 午後のみ
	乳腺		南村 真紀 青柳 智義	吉原ちさと 松崎 弘志	玉貫 圭甲 青柳 智義 吉原ちさと		松崎 弘志 南村 真紀 玉貫 圭甲	
	整形外科		〔交替医〕 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 榎本 隆宏	三村 雅也 鮫田 寛明 染谷 幸男	〔交替医〕 山本景一郎 〔手術日〕	〔交替医〕 久保田憲司 〔手術日〕	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
形成外科			〔手術日〕	内田 龍志 小曾根琢真	内田 龍志 小曾根琢真	薬丸 洋秋 〔手術日〕	内田 龍志 小曾根琢真	(金) 内田 (午後)は乳房再建外来
脳神経外科			内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	〔交替医〕 〔手術日〕	畑山 和己 森脇 拓也 内藤 博道	安間 芳秀 〔交替医〕 〔手術日〕	根本 文夫 畑山 和己	(月) 根本、(水) 内藤 (金) 畑山は新患患者のみ (木) 安間は第1のみ
脳神経内科				鶴岡 淳		宗像 紳	東 美和	(木)第2・4 午後2:00～ 予約患者のみ (金)午前9:30～ 予約患者のみ
呼吸器外科			一ノ瀬修二 荒牧 直	一ノ瀬修二 荒牧 直	〔手術日〕	一ノ瀬修二 木下 孔明 荒牧 直	〔手術日〕	
皮膚科			井関 梢 奥山智香子	井関 梢 奥山智香子 宮川 健彦	井関 梢 奥山智香子	井関 梢 奥山智香子 宮川 健彦	井関 梢 奥山智香子 大田 玲奈	
泌尿器科			武田 英男 〔交替医〕	佐藤 信夫 齋藤 心平	佐藤 信夫 〔交替医〕	佐藤 信夫 金 尚志	佐藤 信夫 木下 涼	
産婦人科			齊藤 俊雄 大村 涼子	大村 涼子 森 麻子 〔手術日〕	齊藤 俊雄 〔交替医〕 〔手術日〕	佐々木直樹 〔交替医〕	佐々木直樹 森 麻子 〔手術日〕	
眼科			小林 悠里 武石真里恵	松枝 美文 〔手術日〕	上原 七生 松枝 美文	武石真里恵 小林 晋二	小林 悠里 小林 晋二	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科			小林 皇一 大熊 雄介	〔交替医〕 〔手術日〕	小林 皇一 大熊 雄介	〔手術日〕	小林 皇一 宮田 卓	
放射線治療科			有賀 隆	有賀 隆 荒木 仁	金澤 亜希 荒木 仁	小池 直義 荒木 仁	有賀 隆	完全予約制
麻酔科			〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:00～11:00 予約患者のみ
歯科口腔外科			喜田晶洋※1/村野彰行※2	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	※1は午前、※2は午後
特殊外来	女性専用(内科)				古池 織恵			予約患者のみ(電話可)
	腎臓内科(内科)			梶原麻実子				午後1:30～ 予約患者のみ(電話可)
	脳神経内科(内科)				戸出のぞみ			午後1:30～ 予約患者のみ(電話可)
	ステントグラフト外来(心外)			櫻井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来				〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器(小児)		佐藤 純一 河内 遼/竹本直輝	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)			高梨潤一(月1回)		牧野道子(月1回)/ 内山 薫(月2回)		午後 予約患者のみ
	小児腎臓(小児)					三浦健一郎(月1回)		午後 予約患者のみ
	小児アレルギー(小児)						下条直樹/薄井 香	月2回 午前9:00～予約患者のみ
小児外科(外科)						小松 秀吾		午前のみ(午後手術)
	遺伝カウンセリング						青柳 智義	午後1:00～4:00 予約患者のみ(電話可)

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。